

1 環境総務課の業務について

環境啓発事業について

■ 事業の目的

環境保全啓発、環境教育、環境学習を通じて、市民の地球温暖化問題等への意識向上や知識を深めることにより脱炭素社会の推進を図るもの

■ 事業の内容

環境問題に触れる機会や場所作りを行うイベントや、環境に意識を向ける人づくりを行うプログラムの実施

🍀 環境保全啓発に関する事業

- 「エコライフDAY」
- 「エコドライブ宣言」
- 「グリーンカーテン啓発事業」
- 「環境フォーラム」など

実施団体	実施内容
川口市環境教育センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市地球温暖化防止活動推進センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市環境教育センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市地球温暖化防止活動推進センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市環境教育センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市地球温暖化防止活動推進センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市環境教育センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市地球温暖化防止活動推進センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市環境教育センター	「エコドライブ宣言」の推進
川口市地球温暖化防止活動推進センター	「エコドライブ宣言」の推進

エコライフDAY 2021

🍀 環境教育及び環境学習に関する事業

- 「Kids'ISO14000 プログラム」
- 「環境講座講師派遣」(川口市地球温暖化防止活動推進センター)
- 「環境フェスタ/プラスチックスマートフェスタ」
- 「地球温暖化防止絵画コンクール」

環境 フォーラム in かわぐち

日時 令和4年
12月10日 土
13時～15時 ※開場は12時30分

会場 フレンドィア
(川口市川口1-1-1 キュポ・ラ4階)



記念講演 講師 見城 美枝子 氏 「未来へつなぐ～私ができること～」

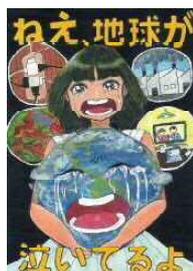
青森大学名誉教授／新島学園短期大学客員教授／サイバー大学客員教授
全国農業会議所学識経験会員／株式会社テレビ朝日ホールディングス社外取締役
早稲田大学大学院理工学研究科博士課程単位取得。
東京放送(TBS)アナウンサーを経てフリーに。海外取材を含め56カ国訪問。
農業、教育、環境、福祉、建築などの分野で講演、執筆を行っている。

取組発表 各団体を取り組む活動内容についての発表です。

・東京ガスネットワーク株式会社 ・ネッツトヨタ東埼玉株式会社

地球温暖化防止ポスター コンクール表彰式

小学生最優秀賞



中学生最優秀賞

フードドライブ を行います

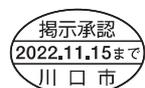
ご家庭で不要となった保存食品、インスタント食品等(賞味期限が1ヶ月以上)をご提供ください。フードバンク等を通じて寄附します。詳細は、広報かわぐち11月号をご覧ください。問い合わせ：資源循環課 048-228-5370

事前申込制 (定員120名)

申込方法：11月1日(火) 9:00から環境総務課へ電話またはホームページで
(右記QRコードを読み取ってください)
電話番号：048-228-5320 (平日 9:00～17:00)



共催：川口市／認定NPO法人川口市環境会議
問い合わせ：環境総務課 048-228-5320



地球温暖化防止ポスターコンクール表彰式

応募作品634点の中から選ばれた最優秀賞、優秀賞、学年賞作品を表彰しました。
(作品は下記リンクからご覧いただけます)

[令和4年度地球温暖化防止ポスターコンクール](#)



取組発表

各団体の環境に関する取り組みを発表していただきました。



【発表者】

東京ガスネットワーク株式会社 埼玉支社

【タイトル】

東京ガスグループの環境への取組



【発表者】

ネットトヨタ東埼玉株式会社

【タイトル】

トヨタ 環境への取組

かわぐち環境フェスタ2022

×

プラスチックスマートフェスタ

7月23日^土 あさひかんきょう 朝日環境センター
リサイクルプラザ3階
13:00~16:30(3部制) 川口市朝日4-21-33

かんきょう 環境ほごやプラスチックごみ問題について
まなべるさまざまなブースがあるよ!



参加にはもうしこみがひつようだよ。ほごしゃの方におねがいしてね。

★事前申込制(先着順)★

申込方法 ホームページから
(右のQRコードを読み取ってください)
申込開始 7月1日(金)から



交通のご案内

- 埼玉高速鉄道 = 南鳩ヶ谷駅下車(徒歩15分)
- 国際興業バス = 川口駅東口出発
→ 朝日環境センター下車
= 西川口駅東口出発
→ 朝日4丁目下車
- 川口市コミュニティバス(みんななかまバス)
(南平線)朝日環境センター下車

掲示承認
2022.7.15 まで
川口市

主催：川口市 問い合わせ：川口市 環境部 環境総務課 ☎048-228-5320

ブースの様子

混雑防止のため事前申込制とし、AコースとBコースに分かれて実施しました。

Aコース（3階・3ブース）

竹製うちわをつくろう/環境総務課



地球温暖化を防ぐためにわたしたちができること/東京ガスネットワーク株式会社 埼玉支社



クイズに挑戦しよう!/資源循環課



Bコース (4階・3ブース)

遊んで楽しく考えよう！私たちの水環境/環境保全課



地球温暖化防止 ソーラーランタンをつくろう/川口市地球温暖化防止活動推進センター



たのしくあそんでリサイクル ペットボトルボウリング/認定NPO法人川口市民環境会議



令和4年度

川口市地球温暖化 対策活動支援金

支援対象システム

- | | |
|-----------|------------|
| 太陽光発電システム | リチウムイオン蓄電池 |
| 電気自動車 | 燃料電池自動車 |
| 太陽熱利用システム | 地中熱利用システム |
| エネファーム | HEMS |
| 生ごみ処理容器 | 雨水貯留施設 |

新たに
電気自動車
を追加



市内業者の活用で 支援金増額

燃料電池自動車及び電気自動車は、
市内業者活用による支援金の増額はありませ

詳細は市ホームページまたはパンフレットを
ご覧ください

パンフレット配布場所 第一本庁舎、鳩ヶ谷庁舎、各支所、川口駅前行政センターなど

お申し込み・お問い合わせ

川口市 環境部 環境総務課

川口市 環境総務課 支援金 検索

〒332-0001 川口市朝日4-21-33

朝日環境センター リサイクルプラザ棟3階

電話 048-228-5320(直通)

メールアドレス 090.02000@city.kawaguchi.saitama.jp

電話及び窓口受付時間は、平日の午前9時から午後5時まで

ホームページは
こちら



掲示承認
R4.7.31まで
川口市

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

● 交付対象となる活動と支援金額

支援対象システム	上限金額	
	市内業者	それ以外
・ 太陽光発電システム	20万円	8万円
・ エネファーム	6万円	5万円
・ 雨水貯留施設 (浄化槽転用)	12万円	10万円
・ 雨水貯留施設 (浄化槽転用以外)	2万4千円	2万円
・ 生ごみ処理容器	2万4千円	2万円
・ 太陽熱利用システム	20万円	8万円
・ 地中熱利用システム	20万円	8万円
・ リチウムイオン蓄電池	6万円	5万円
・ HEMS	2万4千円	2万円
・ 燃料電池自動車	50万円	50万円
・ 電気自動車	5万円	5万円

※支援金額は、設置費に2分の1を乗じて得た額（1,000円未満切捨）とし上限まで。ただし、雨水貯留施設、生ごみ処理容器及びHEMSは、設置費に2分の1を乗じて得た額（100円未満切捨）とし上限まで。

※太陽光発電システムは、公称最大出力の合計が6kW以上の設置の場合、1kWあたり2万円の増額（増額上限10万円）。

● 市内業者について

市内業者とは、「市内に本店登記を有する法人、または市内に住所を有し、かつ事業所を有する個人事業主」のことを指します。

● 対象期間

令和4年3月1日（火）から令和5年2月28日（火）まで

※システムの引渡日（雨水貯留施設及び生ごみ処理容器は代金の領収日、燃料電池自動車及び電気自動車は納車日）が上記期間内であること。

● 申請受付期間

令和4年5月6日（金）から令和4年3月10日（金）まで

2 第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略について

「第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略」は、平成25年度から実行した「かわぐちグリーン・エネルギー戦略」を踏襲し、エネルギーリスクに強く、持続可能で低炭素な市民生活・事業活動の実現を目指すアクションプランである。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会状況、経済状況が大きく様変わりするなか、令和2年度までの戦略期間を2年延長し、引き続き再生可能エネルギー利用の推進、省エネルギーの推進、次世代自動車の普及促進などに取り組み、温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の削減を推進する。

この戦略の実行期間は、平成30年度から令和4年度までの5か年としており、初年度から4年目である令和3年度までの実施状況は次のとおりである。

(1) 戦略目標と主要な施策

ア 再生可能エネルギー利用の推進

4か年の住宅や市の施設への太陽光発電システムの導入により年間発電量は、5,804,804.4kWh（(ア)・(イ)）となった。

本戦略では、再生可能エネルギーにより年間635万kWhの電力を生み出すことを目標としている。これに対する達成率は91.4%である。

(達成率)： $5,804,804.4\text{kWh} \div 6,350,000\text{kWh} \times 100 \approx 91.4\%$

(ア) 住宅向け太陽光発電設備の設置支援

年度	支援件数	発電容量	年間発電量
H30	302件	1,464.5kW	1,486,723.1kWh
R1	323件	1,505.3kW	1,528,091.4kWh
R2	280件	1,335.2kW	1,355,467.1kWh
R3	267件	1,382.4kW	1,403,356.9kWh
計	1,172件	5,687.4kW	5,773,638.5kWh

(イ) 公共施設における太陽光発電設備の設置

年度	設置場所	発電容量	年間発電量
H30	川口市めぐりの森	5.2kW	5,278.9kWh
R2	第一本庁舎	5.5kW	5,583.5kWh
	川口市立高等学校	20.0kW	20,303.5kWh
計		30.7kW	31,165.9kWh

イ 省エネルギーの推進

4か年の公共施設の照明LED化により電力使用量削減量は、3,977,824.3kWhとなった。

本戦略では、公共施設の照明LED化により、年間電力使用量 486,000kWh の削減を目標としている。これに対する達成率は818.5%である。

(達成率) : $3,977,824.3\text{kWh} \div 486,000\text{kWh} \times 100 \doteq 818.5\%$

(ア) 照明のLED化による電力使用量削減の効果

年度	照明をLED化した施設等	電力使用量削減効果
H30	道路街路灯、道合神戸住宅、西公民館、新郷スポーツセンター・新郷南公民館など	296,232.5kWh
R1	戸塚環境センター、道路街路灯、芝スポーツセンター、西スポーツセンターなど	3,130,425.5kWh
R2	川口駅東口地下自転車駐車場、リサイクルプラザ、青木町公園総合運動場、消防施設など	381,938.5kWh
R3	リサイクルプラザ、公営競技事務所、道合高層住宅、戸塚西公民館など	169,227.8kWh
計		3,977,824.3kWh

(イ) 施設の運用改善等

年度	運用改善を行った施設	電力使用量削減効果
H30	元郷学校給食センター (省エネ診断)	19,782.0kWh
R1	芝福祉センター (省エネ診断)	1,022.7kWh
	リサイクルプラザ (エコチューニング)	38,751.0kWh
R2	川口緑化センター (エコチューニング)	17,161.0kWh
R3	西スポーツセンター (エコチューニング)	4,340.0kWh
	第1本庁舎 (自主運用改善)	4,777.0kWh
計		85,833.7kWh

ウ 次世代自動車の普及促進

4か年でハイブリッド自動車11台、電気自動車1台、燃料電池自動車1台、天然ガス自動車2台、計15台を導入した。

これにより、公用車712台のうち97台が次世代自動車となった。

本戦略では、公用車への次世代自動車導入台数10台を目標としている。これに対する達成率は150%である。

(達成率) : $15 \text{ 台} \div 10 \text{ 台} \times 100 = 150.0\%$

(ア) 次世代自動車の導入

年度	車種	台数	導入部局
H30	ハイブリッド自動車	3台	福祉部、環境部、消防局
	電気自動車	1台	環境部
	燃料電池自動車	1台	環境部
	天然ガス自動車	2台	環境部
R1	ハイブリッド自動車	1台	環境部
R2	ハイブリッド自動車	4台	子ども部、環境部
R3	ハイブリッド自動車	3台	環境部、学校教育部
計		15台	

(イ) 個人向け燃料電池自動車の導入支援

年度	支援台数	合計支援金額
H30	3台	150万円
R1	1台	50万円
R2	1台	50万円
R3	8台	400万円
計	13台	650万円

エ 3大プロジェクトのエコ建設の普及促進

新庁舎	赤山歴史自然公園	川口市立高等学校
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設置 ・LED照明設置 ・自然採光及び自然通風 ・雨水及び井水の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明設置 ・緑化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設置 ・LED照明設置 ・膜屋根による自然採光 ・雨水及び井水の活用 ・地中熱の活用

(2) 温室効果ガス排出量の削減効果

4か年の「再生可能エネルギー利用の推進」、「省エネルギーの推進」及び「次世代自動車の普及促進」による温室効果ガス排出量の削減効果は、CO₂に換算すると12,273.1t-CO₂となる。

これはガソリン200ℓ入りのドラム缶約26,450本分を燃焼した際に発生するCO₂量に相当する。なお、ガソリン1ℓ当たり146円とした場合、約7億7,223万円分のガソリンを消費しなかったことに相当する。

また、家庭の電力料金を1kWh当たり27円、事業者の電力料金を1kWh当たり18.03円、ガソリン1ℓ当たり146円とした場合、電力の発電及び削減並びにガソリンの削減による経済的効果は、約6億959万円となる。

(3) 令和4年度に実施予定の主な事業

再生可能エネルギー利用の推進	地球温暖化対策活動支援金 →太陽光発電設備 350件 公共施設の太陽光発電設備 →イイナパーク川口 10kW
省エネルギーの推進	省エネ診断 →5施設
次世代自動車の普及促進	公用車への次世代自動車の導入 →ハイブリッド自動車 14台 プラグインハイブリッド自動車 1台 電気自動車 2台 地球温暖化対策活動支援金 →電気自動車 50台 燃料電池自動車 10台

3 第2次川口市地球温暖化対策実行計画の策定について

(1) 計画策定の経緯

2020（令和2）年10月、国の「2050年カーボンニュートラル宣言」を皮切りに、気候変動に関わる各種法令や計画の改定がなされ、温室効果ガス排出量の新たな削減目標が示されるなど、社会情勢は急速に変化している。

こうした中、本市においても脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガス削減対策及び気候変動への適応策を推進するため、現行計画を「第2次川口市地球温暖化対策実行計画」として改定するもの。

(2) 計画の位置付け

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第3項に基づく「地方公共団体実行計画（区域施策編）」、第21条第1項に基づく「地方公共団体実行計画（事務事業編）」及び「気候変動適応法」第12条に基づく「地域気候変動適応計画」として、国や県が進める地球温暖化対策、気候変動適応策と整合を図りながら策定するもの。

さらに、上位計画である「第5次川口市総合計画」及び「第3次川口市環境基本計画」に基づく地球温暖化対策、気候変動適応策の個別計画として、市の各種事業計画との整合・連携を図り、計画を推進するもの。

(3) 計画期間

2023（令和5）年度から2030（令和12）年度までの8年間

(4) 区域施策編（市全域の取り組み）

ア 市域からの温室効果ガス排出量の削減目標

中期目標	2030（令和12）年度までに2013（平成25）年度比で46%以上削減
長期目標	2050（令和32）年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ

イ 再生可能エネルギー導入目標

2030（令和12）年度までに太陽光発電設備容量（累計）を160,000kWまで増加
--

ウ 基本方針

- ・徹底した省エネルギー化の推進
- ・再生可能エネルギーの利用拡大
- ・まちの脱炭素化の推進
- ・気候変動適応策の推進
- ・脱炭素に向けた行動変容の促進

(5) 事務事業編（市役所事務事業の取り組み）

ア 市の事務事業からの温室効果ガス排出量の削減目標

2030（令和12）年度までに2013（平成25）年度比で42%以上削減

イ 基本方針

- ・徹底した省エネルギー化の推進
- ・再生可能エネルギーの利用拡大
- ・グリーン購入の推進・その他の取り組み
- ・気候変動適応策の推進

(6) 重点施策

- ・省エネルギー設備・機器や再生可能エネルギー設備の導入拡大
- ・移動手段の脱炭素化の促進
- ・建築物の省エネルギー化の促進

(7) 計画策定の経過

令和4年6月6日～6月24日

市民、事業者アンケート実施

令和4年6月23日

川口市環境審議会へ諮問

令和4年8月3日、10月7日、11月25日、令和5年2月22日

川口市環境審議会

令和4年12月15日～令和5年1月13日

パブリック・コメント実施

令和5年3月7日

川口市環境審議会から答申

令和5年3月下旬

第2次川口市地球温暖化対策実行計画の公表